

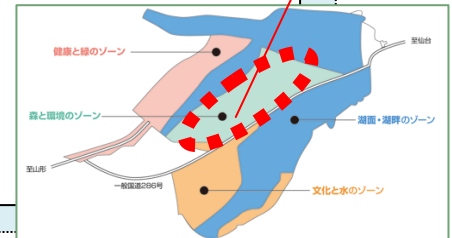
みちのく森の楽校だよ！13月号



みちのく公園「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



3月11日（土）晴れ 再び、キノコのコマ打ち！ほだ木づくりから！

2月にもキノコのコマ打ちをしましたが、少し量が少ないという意見がボランティアから出たので、再びのコマ打ちです。今回はほだ木づくりから始めました。コマ打ちは子供たちも手慣れたもの！お楽しみはピザ焼き！アツアツです！

ほだ木づくり

2月のコマ打ちでは、ほだ木を事前に用意して置きましたが、今日はほだ木づくりから体験しました。ほだ木にするのはコナラです。どの木がいいか選んで、まずは、伐倒！

伐倒はとても危険な作業です。木が倒れる方向をどうするか、見定めて。ボランティアが説明して、見本を見せました。

新年度には実際に伐倒体験をしますよ～

玉切

伐倒したコナラをほだ木にするため、1mの長さに玉切します。これは手ノコを使って、皆で手分けしました。

玉切もとても危険な作業です。玉切することで、丸太にかかる力が変わって、崩れてくることもあるのです。どちらの方向に切れるのか、注意しながら玉切をしました。



伐倒！



玉切



穴あけ

コマ打ちは前回も体験したので、手順がわかりますね。ホダ木はにドリルで穴を開けます。これは大人がやりました。

コマ打ち

開けた穴にキノコのコマを木槌で打ちこみました。

トントントントン、開けた穴が残らないように、すべてにコマ打ちをします。



杉林に運搬

コマ打ちをしたホダ木は湿った杉林に運搬して、寝かせました。前回のものと一緒にして、今年の分のプレートをつけました。

2年前のホダ木から、小さなシイタケが生えてきましたよ！



小さなシイタケ



ピザの生地づくり

朝、早出をして生地づくりをしました！春になって少し気温が高くなったので、お昼までにはこんなに膨らみました！



生地づくり



膨らんだ生地

それを伸ばして、好きなトッピングをして釜に入れて、ジックリ焼くと、アツアツピザの出来上がり！満面の笑顔です！



焼きたてピザ

